

今年一年の地域の皆さまからのご理解とご協力に感謝いたします

これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしていまいります

～写真で振り返るこの一年～



下北ジオパーク清掃〔北部海岸〕(4/20)

下北の美しい自然と景観を守る活動に参加。地域の皆さまとともに海岸に漂着したゴミを拾い集めました。

より、そう、ちから。感謝デー(6/1)

地域への日頃の感謝を込めてイベントを開催。クイズ大会をはじめ、バルーンアートや射的などをお楽しみいただきました。



ひがしどおり来さまいフェスタ(8/24-25)

8/25の「よさこいステージ」に発電所主体チーム「風舞翔吹」が参加。躍動感あふれるダイナミックな舞いで祭りを盛り上げました。

東通中学校 環境・エネルギー教室(10/25)

所員が講師となり、環境問題やエネルギー問題に関する出前授業を実施。自転車を使って発電することの大変さも体感していただきました。



東通村春季ゲートボール大会(5/12)

発電所チーム「つちおと」が参加。終始和やかな雰囲気の中、熱戦が繰り広げられるなど、プレーを楽しみながら親睦を深めました。

東通村植樹祭〔蒲野沢大森地区〕(6/8)

森林を守り、実り豊かな漁場を維持するための活動に参加。ヤマモミジやブナなど広葉樹の苗木450本を植樹しました。



東通小学校 スクールコンサート(9/19)

プロの演奏家を招いてコンサートを開催。美しい歌声と生演奏を楽しむとともに、バイオリンの演奏にも挑戦していただきました。

東通村産業まつり(10/27)

特設のサーキットコースによるミニ四駆レースやカラフルなわたあめのサービスが好評でした。



発電所の一日も早い再稼働に向け、新規制基準適合性審査への対応と安全対策工事にしっかりと取り組んでおります。

- 原子力規制委員会による新規制基準適合性審査では、現在、発電所敷地～敷地周辺の断層の評価等に関する審査が行われています。
- これまで当社は、発電所敷地～敷地近傍※1の断層が「震源として考慮する活断層※2」に該当しないことについて、さまざまな調査データに基づき説明しておりますが、原子力規制委員会からは、地下深部における地質構造の解釈等について根拠となるデータを用いた追加の説明を求められています。
- このため、当社は、地質データの拡充を目的に、補足調査を実施いたしました(3/27～10/27)。今回の調査結果を加えることにより、当社の評価に対する説明性の向上に努め、審査会合で当社の考えにご理解をいただけるよう、引き続き丁寧に説明してまいります。
- また、適合性審査と並行して取り組んでいる安全対策工事については、引き続き2021年度の工事完了を目指してまいります。
- 発電所の早期再稼働の実現に向け、来年も、適合性審査への対応や安全対策工事等に所員一丸となってしっかりと取り組んでまいります。



※1 敷地近傍…敷地を中心とする半径5km程度の範囲
※2 震源として考慮する活断層…将来、地震を発生させる可能性がある断層